

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和02年03月01日

事業所名 スタジオそら学芸大学

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	2	2	2	高学年プログラムの見直し
	②	職員の配置数は適切であるか	5	0	1	配置人数は満たしているが、プログラム内容や利用するお子様に依りての配置が十分とはいえないため再考する
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2	2	壁と柱の凹凸が分かりづらい箇所は、弱視の児童にもわかりやすいようテープ等を貼るなどして安全に配慮する。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに広く職員が参画しているか	6	0	0	今後も継続して実施
	⑤	保護者向け評価表を活用するため等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	今後も継続して実施
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	0	今後も継続して実施
	⑦	第三者評価による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	6	
	⑧	職員の資質の向上のために、研修の機会を確保しているか	3	3	0	療育について、児童対応や保護者対応についての研修及び学習会の実施
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	今後も継続して実施
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	0	今後も継続して実施
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2	0	小集団プログラムに関してはチームで行っているが、個別プログラムに関しては個々で構成を行うことが多い。支援計画更新時や日頃の支援を行う中で個別のプログラムに関する目的等を把握し、同一の支援を行うことができるようにする
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	0	今後も継続して実施
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	6	0	0	今後も継続して実施
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	今後も継続して実施
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2	0	支援の内容についての打ち合わせも行うようにし、質の均等化を図る
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	6	0	0	今後も継続して実施
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	今後も継続して実施
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	今後も継続して実施
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	6	0	0	今後も継続して実施

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和02年03月01日

事業所名 スタジオそら学芸大学

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	0	今後も継続して実施
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時対応、トラブル対応)を適切に行っているか	3	3	0	児童の現状(問題や課題含め)を共有し、一環した指導・支援を行う
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	— (該当なし)	— (該当なし)	— (該当なし)	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	1	5	必要に応じて情報の共有を行う
	㉔	学校卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	— (該当なし)	— (該当なし)	— (該当なし)	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	0	1	積極的に連絡をとり、子どもを多面的に支援できるよう心がける
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	6	現在は実施の予定なし
	㉗	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	0	0	6	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	1	0	フィードバックで活動時間中の様子を伝えるとともに保護者からも日頃の様子を伺う他に、療育時間中に集団生活の中で気になっていること等のお話を伺う
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングなどの支援を行っているか		2	4	プログラムの実施の予定はないが、保護者から相談を受けた際に提案やアドバイス等を行う
保護者への説明責任等	⑳	運営規定、支援の内容、利用者負担について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	今後も継続して実施
	㉑	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0	今後も継続して実施
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援しているか	0	0	6	父母会は、開催のニーズがあれば検討を行う
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制や整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	今後も継続して実施
	㉔	定期的に会報等を発足、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0	今後も継続して実施
	㉕	個人情報に十分注意しているか	5	1	0	事務所内での話の内容や個人名等について配慮する
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0	今後も継続して実施
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	6	現在は実施の予定なし

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和02年03月01日

事業所名 スタジオそら学芸大学

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
非常時の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	0	0	今後も継続して実施
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	今後も継続して実施
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	今後も継続して実施
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子ども・保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで計画に記載しているか	6	0	0	今後も継続して実施
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか	0	0	6	食物の提供は行っていないが、皮膚付着からの症状も考慮し、今後の対応を考える
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	今後も継続して実施

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。